



5月

彩花新聞

Monthly SAIKA Newspaper

215号

2025年5月1日

仕事の喜び

早いもので令和7年巳年も五月を迎えました。この季節は春の終わり、夏のはじまりですが、地球温暖化の影響でいきなり夏を感じますが、やさしい緑とつつじの色合いを味わいたいものです。

仕事とはお客様に喜んで頂けること。売り上げを上げる事ではないのです。売上を上げる事は仕事の結果に過ぎません。誰だって喜んで微笑んで頂けたら嬉しい、それが仕事ならなんと幸せな事でしょう。仕事に付加価値を出して我々に何が出来るかを問い続け商いを続けていきたいと思ひます。



顧客リストの大切さ

今年もいよいよ暑い季節に入り、彩花恒例のエアコンキャンペーンが始まりました！

彩花ではエアコンと水回りのキャンペーンを行っています。

今までのお客様リストに沿って、担当者が電話やメールなどでキャンペーンのお知らせをしています、そして契約になったお客様のところに担当者が作業に行くことで、さらにコミュニケーションが深まり、エアコンだけではなく、他の掃除や紹介をいただくなど繋がりが広がっています。

このことの繰り返しでリピートのお客様が増加しています。このことから人と人との関わり合いがあって商売が成り立つのだとつくづく感じます。

商売の基本は「信用を集める」こと、人間と人間の繋がりがないと成り立ちません。

お客様との繋がりがスタッフをより成長させていると思ひます。

このキャンペーンを通じてさらなる関係づくりを作っていきたいと思ひます。



表情とスマイル

優れたパーソナリティを育てるには、話すときに声をコントロールすることとスマイルを忘れないことが必要です。

ボイス・コントロールとスマイル、この2つの習慣を組み合わせることで周囲とよい関係を維持することができます。顔の表情にはその人の性格が表れます。

性格だけでなく、心の中で起こったことも表情に表れます。スマイルにしろ怒った顔にしろ、すべては心理の表情であり、人間の心の動きは顔に出るものです。

顔の表情を変えることで、心理を変えることもできます。

不愉快なことがあったときにもスマイルを保てば、あなたの気持ちは明るくて前向きになるでしょう。そこにちょっとしたユーモアを加えると、不愉快も軽減するものです。明るい笑顔は、周囲の人々の心を明るくし、悪感情を和らげます。

明るい笑顔は、冷酷な悪意や敵意よりも強いのです。

誰でもちょっとした心がけ次第で、相手のちょっとした表情の変化から、嘘と真実を判別し、その心理を見抜くことができます。

このことを、常に心に銘記して相手の表情を観察すること。

これを心がけることで優秀なセールスパーソンになるのです。



毎日実行したい「ひと手間」

～ 水まわり ～

キッチン



調理後、まだ温かいうちにコンロまわりをサッとひと拭き。シンクは食器洗いのついでに洗剤のついたスポンジでひと拭き、最後から拭きを。

トイレ



1日に1度は、汚れていなくてもトイレ用ブラシで磨きます。洗剤は必要なし。手洗器の水分もこまめに拭き取っておきます。

洗面所



洗面ボウルは使うたびに水気を拭き取っておくだけで水垢の付き方が違います。水栓まわりも忘れずに拭き掃除

浴室



最後に入浴した人が、浴槽をスポンジでひと磨き。洗剤は必要ありません。さらに壁や床、ドアなどの水気も拭き取っておきます。

読み、書き、そろばん。そして感情。

■ヤバい。エグい。キモい。ウザい、ムズい。

これは若者を中心に最近、よく使われる言葉です。

さすがに会社や仕事の現場で使われることは少ないと思います。

けれどもわが家では孫が帰ってくるとそうした言葉が飛び交い、違和感がジジイの頭の中をかけめぐります。

ヤバ・エグ世代のSNSでのメッセージでのやりとりは旧石器人

からすると宇宙人の会話のようなのではと想像しているところです。言葉づかいが流行に影響され、時代とともに変わるのは承知の助ですが、最近の状況にはちょっと危うさを感じているところです。



■「感情リテラシー」への注目

そんな折、先日何気に見ていたNHKクローズアップ現代で、「“ヤバい・エグい”は危険！？ 注目される感情リテラシー」という特集番組をやっていて、その内容に衝撃を覚えたことでした。

番組は“感情を表現できない” 闇バイト、若者に何が？ という語りから始まりました。

ほんらい人の感情は大雑把に分けても100のことばに分類されるというのに、最近の若者は喜怒哀楽どれも「ヤバい」の一言ですませてしまっている。自分や他人の感情、気持ちを理解したり表現したり、感情をやりとりする能力（「感情リテラシー」）が身につけていない。今の自分の気持ちを表現する語彙をもたないまま育ってきていることが原因で、学校はもちろん、家族や会社、そして地域社会で様々な問題を引き起こしているというのです。こうした状況が生まれる要因はもちろん複雑ですが、番組ではスマホやゲームに接触している時間がある線を越えると語彙力が下がるという結果を紹介していました。

■ハラスメントも同根？

自分の感情をことばにできない、相手の感情も理解できないというのは、ことばを操る動物である人間の“根っこ”が危機的な状況に直面していると言えそうです。子どもや学校だけでなく、家族でのありよう、会社や社会での人間関係にいたるまで「ヤバい」ことになっているのかも知れません。振り返ると、この10年余りの間に、セクハラ、パワハラ、カスハラ（顧客からの悪質なクレーム）など様々なハラスメントが大きな社会問題になっています。相手の嫌がることを平気で言い、不快感や不利益を与え、尊厳を傷つけるというハラスメント行為もまた「感情リテラシー」の欠如に原因の一端がありそうです。

■アナログの出番

便利なデジタルに頼り過ぎた余り、ちょっとした言葉の行き違いで感情的なしこりができ、伝えたいことが伝えにくいことが増え、トラブルになることも。こんな時代だからこそ、人情の機微を大切にするアナログな「新聞」の出番だと思います。（らく）

毎日忙しくて
お掃除ができない。
なかなか
綺麗にならない。
高節のため
お掃除ができない。



綺麗にしたい。それならすぐに彩花へ相談してみたら。

お問い合わせ・お見積もりは、お気軽に！

☎ 0120-400-225

<http://www.c-saika.jp/>



インターネットで
お得な情報をGET!



あなたの家のお掃除隊

クリーン彩花

福岡市早良区賀茂2丁目5-35-2号